

事業所名 通所支援事業所チエロ

公表日

R7年 3月 17日

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		1	療育室は利用児が重なり狭くは感じるが遊戯室等をうまく使いながら工夫している	配置スタッフも増えて来ている為、職員室は狭い。間接業務ができる環境は検討が必要
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	5	専門職が個別訓練を実施する際のやり方等は工夫しながら対応している	兼務者や専門職員の配置等は組織としても個人としても共通認識や柔軟な考え方は必要。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			毎日、玩具や床、手すり等は掃除、消毒をしている。	
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		4		2つある療育室ごとの振り返りになってしまいう為、全体の会議費等を定期的に設定する。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		2	法人独自のアンケート調査もっており、内容を確認し改善の検討をしているものもある。	意見を聴取できているが、全ては改善の検討ができていない。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		4	スタッフ面談の機会を定期的に持っている。	意見を聴取できているが、全ては改善の検討ができていない。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。※法人実習生等のアンケート含む	6		3	保育実習生にアンケートを取り、共有している。	実習生アンケートの中身は精査も必要と感じる。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		1	外部研修がある際は共有している。自薦、他薦で候補者を決めている。	法人内での研修開催はあるが、内容や実施機会については不十分である為、検討が必要。
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		1		H Pや玄関にも公表しているが、周知しきれていない部分もある為、改善が必要。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			アセスメントシートが市内で統一され、取り入れたことで確認、共有しやすくなった。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9				フォーマルなアセスメントに関しては外部機関に頼っている部分もある為、道具やスタッフのスキル向上は検討している。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		3		個別支援計画の内容や項目の精査は必要と感じる。わかりやすく、見やすさも大切に今後、検討する。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		1	大まかな流れは固定されているが、イレギュラーな内容なども入れながら活動を提供している。	どんなことが求められているか、どんなことができるかをスタッフ間で共通認識を持ち、今後、検討する。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			子どもの発達段階に応じて、個別・集団を組み合わせ支援している。	

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		3		朝は毎日ではできていない時もある為、時間の取り方を工夫して改善したい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			療育後に必ず時間を設け、2つある療育室単位で行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9				
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			各担当スタッフが出席できるように調整している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。※子育てサロン等も含む	8		1		受け身になってしまう事もある為、主体的に連携していく動きを具体的に検討する。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		2		できている関係機関（事業所、こども園）とできていない関係機関がある為、情報共有から積極的に改善する。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		4		小学校より求められれば、応じるという程度になっている為、保護者と共有し検討していきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8		1	研修には参加している。また地域の連絡回答では情報共有や事例検討、サポートブックの活用方法等で連携している。	取り組みは行なっているものもある為、事業所内での周知や説明が不十分だったと思われるので会議等で分かり易く伝えていく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 ※代表職員の参加・伝達も含む	9			県の事業で療育のコンサルテーションに入って貰ったり事例検討を行なっている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。※代表職員の参加・伝達も含む	9			参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあひも含む	6		3		積極的には機会を作っていない。外出訓練時は交流の機会がある時もある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	4		研修会は開催していないが、情報の提供を行なっている。実際に参加された保護者もいた。
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		1	
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			本人や家族の要望を聞き取れる様子を準備し提出して頂き、それを元に個別支援計画を作成している。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9				
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			フィードバックでは不十分な時は別日調整を行ない、相談を受けその場で助言が難しい際はスタッフ間で検討し回答している。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		1	ランチ会や茶話会を企画し保護者間の交流ができる機会を設けている。	きょうだい同士で交流する機会はなかった為、今後検討していく。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9				その都度、丁寧に対応している。	

保護者への説明等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	2		グループ法人の行事は周知し参加する方もいるが、法人としても検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		4		マニュアルは作成し訓練も行っているが、意味付けは周知しきれていない為、改善が必要。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		2		安全計画は作成しているが、訓練が不十分な為、検討する。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		4		周知しきれていない為、要約版等も検討し周知を図る。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	2		対象児がいらない為、個別支援計画には記載していないが、スタッフ全員と共通認識は必要の為、改善する。	

事業所名 通所支援事業所チエロ

公表日 令和7年 3月 17日

利用児童数 49名 回収数 22名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22				・他の発達支援施設と比べても遊戯室やスヌーズレーン等、設備が整っている。 ・室内でもトランポリンや三輪車などを動かせる環境があります ・十分に確保されている。特に遊戯室がとても広く子供が楽しんで活動している様です。	ご意見ありがとうございます。今後も目的を持ちながら、環境設定をしっかりと行いたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22				・適切であると思います。	ご意見ありがとうございます。運営基準や法定ルールを確認しお子さまにより良い支援が提供できる人数を配置致します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	22				・部屋の中でも活動毎にスペースで区切られており、わかりやすいと思います。	ご意見ありがとうございます。お子さまに分かり易い環境設定を第一に考えて今後も設定いたします。
	4 事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22					
	5 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1			・建物が新しく綺麗ならえ、掃除が行き届いている。 ・教室にはほとんど入らないので、いつも清潔なかどうかはわかりません。	・1日1回の玩具消毒、床や手すりの消毒を行っています ・療育室に入れる機会を検討いたします。
適切な 支援の 提供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				・チエロに通ってから、子どもが予想以上に成長したと感じる。	ご意見ありがとうございます。今後もスタッフの資質向上を目指し、外部研修や内部研修の機会を検討いたします。
	7 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1		
	8 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	9 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			1	・いつも丁寧に話を聞いていただいています	ご意見ありがとうございます。個別支援計画の内容や書式の見方も分かり易くご説明いたします。
	10 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1				配布時の説明を分かりやすく行い、支援計画の進捗状況も丁寧に伝える機会を持てるよう検討します。
	11 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		1	・季節の行事や、体を使うものなど、毎回楽しもうに参加しています	ご意見ありがとうございます。活動が固定されすぎない様に検討しておりますが、お子様、保護者の意見を取り入れながら改善を図ります。
	12 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 ※公園や外出等での地域の子ども達とのふれあひも含む	14	3		5	・機会はあるが、少ないと思う。 ・こちらについては分かりません ・他のこどもとの交流についてはあまり聞いたことがない。	ご意見ありがとうございます。保育所やこども園、幼稚園との交流は行っていないが、外出訓練で地域に出た際は地域の方と触れ合っています。
保護者 への 説明 等	13 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	14 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				・とても分かりやすい書面と共に丁寧な説明がありました。	ご意見ありがとうございます。今後ともお時間を取り、分かりやすくお伝えいたします。
	15 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2				ご意見ありがとうございます。就学勉強会（年中保護者対象）を行ったり、研修会の案内を行なっています。
	16 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21			1	・日々の丁寧なフィードバックの時間でリアルタイムで共通理解ができています。	ご意見ありがとうございます。今後ともフィードバックの時間をしっかり設定します。またフィードバックの機会が少ない方にも面談の機会を増やしていけるよう検討します。
	17 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	3			・助言等をして下さる事によって、とても助かっています。	送迎利用の保護者様とお話しする機会が減っているので面談の機会を増やしたいと思います。
	18 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1	・否定的ではなく、共感的に支援を下さっています。	ご意見ありがとうございます。事業所内でできていることをご家庭の中でどのようにしたらできるかを一緒に相談していきたいと思っています

	19	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 ※保護者食事会、ママランチ等も含む	20	2			・秋祭りが家族で参加できて楽しかったです ・ママランチ会に参加したことにより、とても前向きになりました。	ご意見ありがとうございます。今後とも交流の機会は引き続き検討して参ります。
	20	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22					
保護者への説明等	21	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	1			子どもの理解に合わせたアイテム（絵カード等）を使いながら意思疎通をするようにしています。 保護者様との会話の内容で配慮が必要な際は相談室を使用したり、別日で日程焼成をして面談を行えるようにします。
	22	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2		2	・連絡体制がとても分かりやすく助かっています ・ホームページやSNSはあまり見ないのでよくわかりません。	情報発信のツールとしてSNSを更に活用し活動等が分かりやすい様に検討します。
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1				改めて個人情報の取り扱いをスタッフ間で議論し、こういった場面での配慮が必要か検討します。
非常時等の対応	24	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3		5	マニュアルがあることは知っているが、訓練の実施についてはよくわかりません。	ご意見ありがとうございます。契約の際にマニュアル等の説明をします。また訓練等を行なった際はおたよりで周知します。
	25	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		4	訓練の頻度についてはよくわかりません。	ご意見ありがとうございます。訓練の実施報告もおたより等で周知します。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		4		計画の内容や訓練の報告をおたより等で周知します。
	27	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2		3	非常時についてはよくわからないが、体調が悪いときなどは速やかに連絡をしてくれます。	ご意見ありがとうございます。速やかに連絡し事故の内容等も共有致します。
満足度	28	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1				安心感を持って通所できる様、今後とも検討します。
	29	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	1	1	・来るまでは大変だが、来てしまえば楽しんでいる様子。 ・週によって予定が組まれているので毎回とても楽しみにして通っています。	ご意見ありがとうございます。通所する事への楽しみや見通しが持てるようスタッフ間で工夫して個別に対応させて頂きます。
	30	事業所の支援に満足していますか。	22				・大変満足しています。質的にも、最高の事業所だと思います。 ・3年前と比べると、できることがたくさん増えてます！ありがとうございます。 ・本当に通わせて良かったなと思っています。 ・こちらに通所できて、大変満足しています。	ご意見ありがとうございます。今後とも「わかる」や「できた」ということを大切にお子さんの自信につながる様な活動を設定し支援いたします。

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	通所支援事業所チエロ		
○保護者評価実施期間	R 7年 1月 15日		～ R 7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	R 7年 1月 15日		～ R 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて支援が行われている。	個別療育や集団療育を子どもの発達段階に応じて取り入れている。年度の切り替えで、個別活動中心の療育から集団活動中心の療育に代えている。	子どもの発達段階や本人、家族の希望があれば年度の切り替え時期でなくても、活動の切り替えを柔軟に行なう。
2	サービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者(担当スタッフ)が参画し意見交換できている。	関係機関や保護者から要望があった際に事業所の実態や想い、考えを話すことができるスタッフを選定して参加している。また事前に話す内容は事業所内でも十分に検討できている。	会議の主催に関しては消極的な面もある為、必要性に応じて、積極的にサービス担当者会議を主催する。会議をきっかけとして関係機関との連携を深められるように個の繋がりも大切にしていく。
3	ママランチや保護者同士の交流会開催等により、保護者同士やスタッフとの交流の機会を設定できている。	ランチ会を主に開催していたが、時代の流れや社会的な背景から機会の回数や内容は変更をかけて、保護者同士の交流、保護者とスタッフの交流がメインであることを見失わずに設定する。	送迎ニーズが高まっており、通常の交流(保護者同士や保護者とスタッフ)の機会が少なくなっている。家庭訪問や面談の機会等を計画的に提案し保護者とスタッフの交流はイベント等に眼を向けず実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベント等に来所して頂く機会はあるが、療育室や事業所内の環境を見て頂ける機会が少ない。	新型コロナウイルス感染症拡大の背景もあり、事業所内に入ることのできる機会やイベント減少もあり、やや閉鎖的に感じる保護者もいらっしゃる。	活動の様子がわかる様な写真や動画を用いてフィードバックや面談を行う。また、事業所の環境等がわかる様な機会(療育見学やイベントのお誘い)を意図的に図る。地域に開かれたイベント再開をスタッフや法人と共通認識を計り、開催時期や開催規模を前向きに検討する。
2	送迎ニーズの増加により、なかなか対面でお話しをする機会が提供できていない保護者様も増えて来ている。	核家族や共働きが当たり前になった現代としては送迎は必須である。	送迎利用の保護者様とも定期的に面談やフィードバック(行動の評価)ができる機会を意図的に作り、お子さんの成長や特性を共感・共有できる様にする。
3			

公表

事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		通所支援事業所チエロ		公表日		R7年 3月 17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		チエロを併用しているお子さんは、日ごろから使い慣れている絵カードがある為、必要であれば訪問先へも提供できる様、検討したい。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		チエロを併用してのお子さんは、訪問時の様子等は事業所内スタッフとも共有し日々の療育にも活かしていける様、工夫している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			保護者様と訪問先の先生方の関係性にも変化はある為、丁寧にお話を聞かせて頂きながら意向を確認・修正していきたい。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		訪問後の記録を取る機会をしっかりと設け、適切な報告書が作成できるようにしている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2			外部評価は検討するものの、実施できていなかった為、積極的に検討したい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		外部研修に参加しスタッフのスキルアップの機会を設けている。また地域の連絡会にも参画し情報共有している。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			チエロを併用しているお子さんも他のおこさんも課題がある時の介入だけでなく日々の活動の様子や生活の様子をしっかりと把握していきたい。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		訪問スタッフが保護者様、本人、訪問先の先生と丁寧に面談させて頂き意向や目標を聞き取っている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		支援計画を作成する際は訪問先の先生を交えて会議を行ない聞き取りしている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			フォーマルなアセスメントは他機関で実施した物を共有頂いているが事業所でも実施できないか検討したい。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		訪問先の環境や状況に合わせた具体的な提案をするよう気を付けている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		訪問スタッフと児発管、必要があればチエロ内のスタッフと共通認識を計り、支援を提供している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		チエロを併用してのお子さんは、訪問時の様子等は事業所内スタッフとも共有し日々の療育にも活かしていける様、工夫している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		記録を取ることは徹底している。またその場での回答が難しい場合は事業所に持ち帰り、スタッフ間で相談後、回答している。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		計画内容の意図や目標を明確にし、保護者様とも計画の評価を行ない、必要があれば新たな計画を作成し取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		お子さんを良く知る訪問スタッフが出席する事は徹底しているが、必要に応じて児発管も参加している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		地域の連絡会に参加し様々な情報を共有している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		移行先の先生と面談する機会を持ち、本人の特性や今までの関わりの経緯や仕方を伝えている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		外部研修に参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		参加している	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			情報提供を行なっているが研修は実施できていない。今後、スタッフが研修に参加し、しっかり学びを得てから実施するかを完投したい。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			丁寧に伝えたつもりでも、伝わっていない事もあった為、説明の仕方に課題を感じる。改善していきたい。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2			児童発達支援を併用するご家族にはできていますが、登録者全員へはできていなかった。今後検討したい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2			保育所等訪問事業ではできていなかった為、今後検討し改善したい。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
訪問先	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		電話やメールでの相談等も受け付けている。今後は更に相談を受けやすい体制や仕組みを検討していく。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		必ず共有の機会を設けている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		まずは事業内容をご理解して頂く事を優先にしその後、訪問先の先生方と信頼関係を構築しサポートさせて頂いている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			マニュアルを作成し訓練は実施しているが周知が不十分であった点がある為、改善していきたい。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			マニュアルを作成し訓練は実施しているが周知が不十分であった点がある為、改善していきたい。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットがあればその日の内にスタッフ間で共有し再発防止に努めている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		年2回以上、行なっている。また法人独自の自己チェックアンケートも行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名		公表日			R 7年 3月 17日	
通所支援事業所チエ工		利用児童数			10名 回収数 9名	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9			・有効な支援の方法を教えてください、すぐに取り入れることができました。 ・行動について、その行動の理由をどう見立てて、どう解釈するかわかりやすいです ・こちら側ができる範囲で助言いただくのでありがたいです。 ・最初は理解に悩むこともありましたが勉強をし取り入れることができました。	ご意見いただきありがとうございます。保育所等訪問がどのような意図なのか事業の説明も改めてご説明しながら具体的にどんなサポートが必要なのか今後ともお手伝いさせて頂ければと思います。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9			・環境作りなどを、毎回詳しく教えていただけました ・保育所で取り入れやすい支援、場面よりの対応などわかりやすい。 ・その子にあった援助の仕方を教えていただき、満足しています。	ご意見いただきありがとうございます。今後も障がい特性に応じた関わり方や環境の設定等を訪問先の先生と一緒に検討しご提案できる様、努めてまいります。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9			・家の方と園の両方側の話を敵時・適切に対応してもらえた。 ・保護者から相談されたことなども共有していただいたことでリアルタイムでこちら側も対応できた。	ご意見いただきありがとうございます。今後も適時適切な回答に心がけてまいります。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9			・不安に思っていることを相談できて、次の保育につなげることができました。 ・子どもの見立てや具体的な進路についてなど、大いに参考にさせていただいています	ご意見いただきありがとうございます。訪問先での様子をしっかり確認させて頂き、少しでも課題や困り事が減らせるように精一杯サポートさせていただきます。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	9			・保育所でできる対応を教えてください、保護者の方が子どもと向き合えるよう助言して下さったおかげで、保育士、保護者、子どもの困り感が全て軽減された。 ・保護者さんからの依頼と思いますが、できることならもっと頻繁にみていただきたい。	ご意見いただきありがとうございます。今後も訪問先の先生と保護者様と連携がしやすい関係性作りをベースにまずは相談しやすい連絡体制や仕組み等も検討して参ります。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧かつわかりやすくお話しいただき感謝しております ・子どもに対しての対応で悩んでいた為、訪問して頂いた時は本当に良かったです。 ・チエ工での様子を写真や映像を通して伝えて頂いて大変学びになりました。 ・学校生活のスタート時や大きな行事等、本人が不安を感じやすい場面で家族と学校の間に入って頂き、本人にとって分かり易い支援と一緒に考えて頂き、フィードバックを通じて本人の頑張りや成長の様子を共有できたことが良かった。 				ご意見いただきありがとうございます。今後も具体的な提案やわかりやすい説明をベースに、訪問先の強みを理解してお話しできる様努めてまいります。また集団活動や行事の際の取り組み方等も具体的な提案ができるよう先生方や保護者様と連携を密にして対応して参ります。		

公表 保護者からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名 通所支援事業所チエ工

公表日 R7年 3月 17日

利用児童数 11名 回収数 7名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5	1		1	特別な教具や教材は準備するよう言われなかったため、あらかじめ準備しなくとも整えられていたのかなと思います。	ご意見いただきありがとうございます。視覚的な情報の方が優位に伝わる方にはカード等を使用してコミュニケーションを図ります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	7				・フィードバックは必ず個室で行っていただきました。 ・子供の情報が漏れないようにいつも個室等で対応いただけて助かります。	ご意見いただきありがとうございます。個人情報等の配慮に関しては今後も継続して取り組んでまいります。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	7				訪問の必要性やその目的について、きちんと説明していただきました。	ご意見いただきありがとうございます。今後も初回時に目的や意図を明確に分かり易くご説明したいと思います。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7				・保護者だけでなく、訪問先の園にも連絡をとって日程調整をしていただけていました。 ・急なご相談でも、柔軟に対応していただき感謝しています。	ご意見いただきありがとうございます。できる限り訪問先のご都合に合わせて日程調整をさせていただきます。気兼ねなくご相談ください。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5	1		1	・支援の必要な子どもの数が多いのではないだろうか？と思うなかで、支援する先生の人数や時間数は足りてるのかな？とふと疑問はあります。いつも丁寧、一生懸命にやってくさるので。	ご意見いただきありがとうございます。訪問する目的を私共のしっかり理解し悩みを共感する事も大切ですが、先生方や保護者様、お子さんの悩み事が少しでも軽減できる様努めてまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7				・こどもの特性や傾向などを理解して関わっていただいていると思います。 ・子どもの姿をみて、現在の様子を認め、さらにより良い方向に提案していただき、親としてはありがたいです。	ご意見いただきありがとうございます。お子さまの特性や環境をしっかり理解し、具体的な提案が出来ますよう、今後も努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6	1				
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	7				園にも具体的な助言をしていただいて、園の先生方も感謝していました。	ご意見いただきありがとうございます。無理な提案はせずにご相談しながらサポートさせていただきます。
保 護 者 へ の 説 明	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7				・不安や心配事などの話を聞いていただき、それに対するアドバイスをしてくれています。 ・いつも、子供だけでなく親の私たちにも寄り添うアドバイスや労いの言葉をかけていただいて、励みになりました。	ご意見いただきありがとうございます。子育ての大変さや楽しさ等を保護者様と一緒に共感しながら成長と一緒にサポートしていきます。

等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5		2			ご説明が不足していた部分もあるかと思 います。相談のしやすさや相談の仕方 について改めてご説明いたします
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	7					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行 われていると思いますか。	6		1			訪問後の報告が不足していたのかもしれ ません。適切な報告ができるよう改めて いきたいと思ひます。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について 話し合いが行われていると思いますか。	7					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされて いると思いますか。	6		1			訪問後の報告が不足していたのかもしれ ません。適切な報告ができるよう改めて いきたいと思ひます。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や 業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		1	2	ホームページやSNSをあまり見ないので よくわかりません。	ご意見いただきありがとうございます。 ホームページ等で公開している情報を検 索しやすい様にQRコードにするなど工 夫を検討いたします
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるよう にしていると思いますか。	5	1		1	緊急なことがなかったので、よくわか りません。	ご意見いただきありがとうございます。 緊急時の対応等を分かり易く改めて周知 いたします。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	7				・嫌がる様子はないようです。 ・いつも楽しみにしていました。	ご意見いただきありがとうございます。 お子さまにも訪問時に安心してもらえ るよう工夫したいと思ひます
	28	事業所の支援に満足していますか。	7					

公表 事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	通所支援事業所チエロ		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 15日		～ R7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 15日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	R7年 2月 4日		～ R7年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当児童発達支援を利用している方を多く対応している為、訪問先（幼稚園・保育園等）や家庭以外のご本人の様子も把握したうえで対応できる	訪問支援員と児童発達支援スタッフとの情報共有を適宜行っている。日々の児童発達支援で活用している視覚支援やツールを共有している。	・訪問支援員のみではなく、児童発達支援スタッフも同行することで、日々の様子の違いやご本人の特性を活かした具体的な支援の提案が更にできないか検討する。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が不足している	保育所等訪問のできる経験のあるスタッフ数が不足している。各事業所の職員数が充足していない為、地域の様々なニーズに対応しきれていない。	各事業所の職員のスキルアップを目指すとともに、職員補充や人員配置の兼務者の検討も必要と考える。しかしながら地域の訪問事業の実態を把握しながら配置の増員は検討したい。
2			
3			